



# コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



じぼさん但馬での「玄さん」折り紙教室



「玄さん」折り紙を手にする水嶋さん



こうの舞



こうのとり親子



奈佐長寿会折り紙同好会

## 折り紙を通じて情報発信し まちの活性化に奔走する元気人

折り紙を通じて情報を発信し、出会いや交流を広げ、まちの活性化を図るために飛び回る元気な男性を紹介します。

**水嶋 勉** つとむ  
勉さん(42歳)福成寺

### 羽ばたくことを夢見て

のどかな山あいの郵便局。 「いらつしやいませ。こんにちは」と、笑顔で地域の方を出迎えるのは「折り紙郵便局」という名で親しまれる奈佐簡易郵便局長で折り紙工芸作家の水嶋 勉さん。

水嶋さんは、高校卒業後、郵便局に勤務しましたが、郵政民営化の流れを機に、18年間勤務した郵便局を平成17年3月に退職しました。「仕事の枠にとらわれないで、自分の殻を破りたいと思ったんですね。コウノトリが大空へ羽ばたくように」と当時を振り返る水嶋さん。

### 折り紙をライフワークに

もともと細かいことが好きで手先が器用な水嶋さんは、「丸いものを違う角度から見ると別の形に見えるかも…。そんな発想から次々とアイデアが浮かびます」と話します。簡単な材料で手間をかけずに、いつでも、どこでも、誰とでも楽しめる「折り紙」が自分のライフワークにピッタリだと気付きました。そして、折り紙は、きっちり折ることばかりを考えていましたが、

1枚の紙に気持ちを込めて折るとおのずときれいに折れるようになりました。

### コウノトリ創作折り紙秘話

このころ、コウノトリの放鳥により、その優雅な姿に魅せられ、何とか折り紙で表現できないかと試行錯誤していたとき誕生したのがコウノトリ創作折り紙「こうの舞」。平成18年9月に開催された「第2回こうのとり音楽祭」では、コウノトリの歌を歌いながら大きなベアの「こうの舞」を折り上げるパフォーマンスを披露し、会場を沸かせました。

折しもこの年はのじぎく兵庫国体開催の年。ソフトボール成年女子会場の但馬ドームで、折り紙体験コーナーを出店していたとき、3人の選手が「こうの舞」を見て「すごい！折ってみたい！」と言って体験しました。その後、彼女たちのチームは、並居の強豪を倒し、優勝してしまいました。「彼女たちから「コウノトリのおかげです」と言われたときは、何よりうれしかったですよ」と話す水嶋さん。やはり

コウノトリは幸せを運ぶ鳥のようです。

### 「玄さん」折り紙の次は…

水嶋さんは、日本折紙協会講師として但馬内外の各地を飛び回る一方で、地元の一奈佐長寿会折り紙同好会にも毎月出向き、手書きの折り図や説明を基に指導をしています。

昔、奈佐地区では「奈佐紙」と言われる和紙の生産が主要産業でした。「折り紙とともに奈佐紙の歴史も伝えていきたいですね」と話す水嶋さんは、郵便局を拠点に地元の情報発信にも余念がありません。「折り紙を通じてN.A.S.Aから宇宙へも羽ばたきたい」と夢を語る水嶋さん。「きつと何かやってくれ。そう常に期待される人でありたい」と話しながら、好評の「玄さん」折り紙の次の作品を頭に思い描いていました。



▲折り紙工芸作家の水嶋さん。奈佐簡易郵便局に行けばこの笑顔に出会えます

広報マンがやってきた!

幼稚園編

6

# 中竹野幼稚園

(竹野)

〈園児11人〉



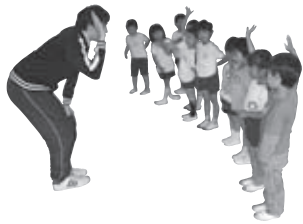
山々と田園に囲まれた中竹野幼稚園では、毎月2回程度、森本中学校のALT(外国語指導助手)を招き、交流をしています。

6月1日、今年4回目の交流が行われましたのでその様子をのぞいてみました。

## 英語で、できるよ!

朝のあいさつ!

「グッドモーニング、エブリワン(皆さん、おはよう)」とALTのコリン先生があいさつすると、園児は元気に「グッドモーニング。ハウアーユー(お元気ですか)」とすかさず答えます。



「サニー(晴れの日)好き?」「レニー(雨の日)は?」と天気について聞かれても、手を挙げて答えていました。

## 跳って覚える

ワン・ツー・スリー

先生が持ってきたCDを聴きながら、元気に踊る園児たち。



## 色も英語で

レッド・ブルー・イエロー

今日は、色の英語を覚えます。カードを見ながら、この色は英語で何と言うのか、先生



が発する言葉に集中します。

時には、頭を指差しながら、「ブラック」と言ってみたり。身近にある物の色、うまく英語で言えるかな?

## 英語でじゃんけん

楽しいよ

色も英語で覚えた園児たち。先生とじゃんけんをして、勝てば先生に色の質問です。もちろん、じゃんけんも英語で...



## 英語と笑顔で、さよなら

楽しい交流の時間もあっという間。終わりのあいさつも英語で交わします。「グッドバイ、エブリワン(皆さんさようなら)」。シーユ(またね)。



# 顔輪笑の

着物や古着を新たな洋服にリフォーム  
たけの着物リフォームの会(竹野)

たけの着物リフォームの会では、着なくなった着物や古着などを洋服にリフォームし、作る楽しみや身に付ける喜びを皆で一緒に感じながらリサイクル文化を振興しています。29人の会員を有するこの会は、活動日に、皆さんが家庭で着なくなった着物や古着を持ち寄り、講師にリフォームの方法を覚えてもらい、自分の着衣として再び着られるようにしています。

素材は、着物に限らず、ネクタイや羽織なども活用し、ベスト、ブラウス、ワンピースへと見事に形を変えていきます。会員の皆さんは、自分たちが作った洋服を身に付け、完成したものを見せ合ったりしながら



▲リフォームに取り組む会員たち



▲ベスト、羽織で作ったネクタイ、入れ物を作ることができるといいます。

話す代表の安田早苗さん。今年で設立(平成19年10月)から3年目を迎え、毎年地域の文化祭には、会員の皆さんが自らリフォームした洋服を展示しています。活動は、毎月2回(第1・3木曜日)、竹野地区公民館で行っています(参加費1回300円)。経験のない方も講師に一から丁寧に教えてもらえるので、どなたでも大歓迎です。入会希望・問合せは、安田さんまで。☎47-11075